

認知症の症状は、病気により 特徴があります。～種類と症状、対応方法について～



認知症は記憶力や判断力など、脳の機能（認知機能）が日常生活に支障をきたすほど低下する病気の総称です。さまざまな種類の認知症があり、それらが合併する混在型の認知症もあります。

認知症の種類によって症状が異なるため、正しい診断を受けて症状に合わせた対応をすることが大切です。

1. 主な認知症の特徴

①アルツハイマー型認知症

- ゆっくりと進行する。
- 少し前の出来事を忘れる。
- 初期の記憶障害から、進行に伴い身体機能が低下する。
(運動まひや歩行障害、失禁などの症状が出る)

②血管性認知症

- 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中が原因でおこる病気。
- 手足のまひなどの運動障害が起こることがある。
- 気分が落ち込んだり、意欲の低下が見られやすい。
- 泣き上戸など、感情の抑制がしにくくなる。

③レビー小体型認知症

- 子どもや動物、昆虫など実際に存在しないものが見えること（幻視）がある。
- パーキンソン症状（歩行が小刻みで転びやすい、筋肉がこわばって動きが鈍くなる、手足が震える、姿勢が前かがみで猫背になる、など）
- 睡眠中に大声を上げたり、ばたばたしたりする。

④前頭側頭型認知症（ピック病）

- 理性をつかさどる前頭葉が侵されるので、行動に抑制が効かなくなり、万引きや交通違反など反社会的行動が増える。
- 感情のコントロールができない、自己中心的になるなどの人格変化がある。
- 同じ行動を繰り返す。



2. 認知症の人との接し方

認知症の人は不安や孤独を感じ、大きなストレスを抱えています。そこにきつい言葉や対応があると、さらに傷つき、混乱し、認知症の進行も早くなってしまいます。

認知機能が衰えていたとしても、古い記憶は残っていたり、感情は豊かです。子ども扱いされたり、指示や命令をされて過ごすのは、一人の大人としてとてもつらいことです。

本人が何を求めているかを考え、本人がやりたいことができるように支援できると、認知症があっても安心して暮らすことができます。

- できないことを責めるのではなく、できることをほめましょう。
- 笑顔で気持ちよくなることを増やしましょう。
- なるべく前向きな会話・声かけをしましょう。
- ささいなことでも役割を持ってもらいましょう。
- 失敗しないように支援しましょう。
- 本人の希望やペース、習慣などを大切にしましょう。



【問合せ】 日野町地域包括支援センター（電話 72-1852）

奥日野バーガー、予選突破!



「いらっしゃいませ」笑顔で接客



日野高生も声を張り上げ、大活躍



スタッフは大忙し



見事2位となり、本選での健闘を誓う、廣瀬さん

本選に向け、「ガンバーガー」全国ご当地バーガーグランプリ 鳥取県予選

8月30日、伯耆町の植田正治写真美術館前を会場に「全国ご当地バーガーグランプリ鳥取県予選」が行われ、日野町から「原木シイタケと熟成チキンの奥日野きのこバーガー」が出店し、見事2位となり、本選出場が決まりました。

奥日野きのこバーガーは、日野町産の原木シイタケや日野高校の生徒が作った玉ねぎ、菅福元気色産の3年熟成味噌など、地元産の素材をたっぷり使った滋味あふれる一品で、出店ブースには常に行列ができるほどの盛況ぶりでした。

また、当日は、出店したNPO法人奥日野里山ネットの皆さんのほか、役場職員、日野高校から、鈴木陸さん(2年)、楨原祐人さん(2年)、保田智史さん(2年)が参加し、呼び込みや接客で大活躍しました。

2位という結果に、奥日野里山ネットの廣瀬俊介さん(黒坂)は「まずは予選突破できてうれしい。この結果に満足せず、バーガーの改良などを行い本選へ挑みたい」と話し、奥日野きのこバーガーの本選でのさらなる健闘を誓っていました。

全国ご当地バーガー グランプリ2014

本選は、
10月12日(日)・13日(月)、
大山博労座で開かれます。

全国から選りすぐりのご当地バーガーが大集結!

その中でも「奥日野バーガー」をぜひ会場で味わっていただき、応援をよろしくお願いします。



「とってもおいしいですよ」とアピール



日野高2年生の皆さんと廣瀬さん



この調子で本選も「ガンバーガー」

▼各店、白熱した呼び込みや接客を行い、会場は盛り上がりしました。



「うちのバーガーもよろしく!!」



米子南高の生徒も初出店



個性的な呼び込みも数多くみられました